

3224MHz対応屋内用混合(分波)器

MODEL
MX-SWE4K8K
3224MHz対応

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



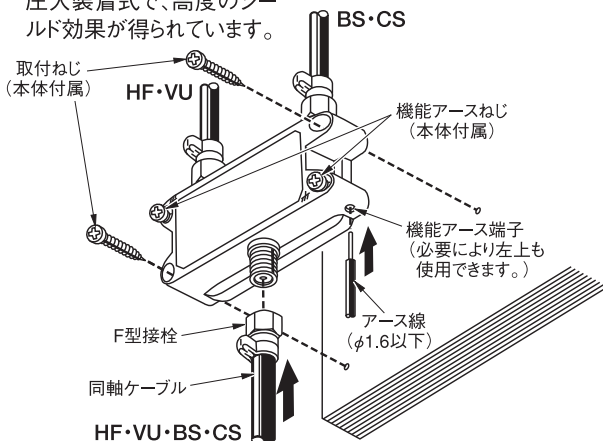
高シールド

このマークは放送法「不要放射34dB μ V/m以下」に準拠・設計された「Wi-Fiや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。



■特長

- HF・VHF・UHF帯域(10~770MHz)とBS・CS-IF帯域(950~3224MHz)を混合(分波)できます。
- BS・CS入力端子と出力端子間で、電流通過(最大DC15V/0.8A、AC30V/1A)ができますので、ブースター(増幅器)やコンバーターへの電源供給が可能です。
- 接栓座とハウジングを一体化した垂鉛ダイカスト製、裏ブタは圧入装着式で、高度のシールド効果が得られています。



■標準性能表

周波数帯域 (MHz)	10~770	950~1000	1000~2150	2150~3224
通過帯域損失 (dB以下)	1.3	2.0	2.5	3.0
阻止帯域減衰量 (dB以上)	20	18	20	
電圧定在波比 (以下)	1.6	2.5		
入力・出力インピーダンス (Ω)	75 (F型)			
使用温度範囲 ($^{\circ}\text{C}$)	-10~+40 (本体周囲温度)			
質量 (kg)	0.1			
寸法 (mm)	57 (高さ) × 76 (幅) × 20.5 (奥行)			

出力とBS・CS-IF入力端子間電流通過
最大DC15V/0.8A、AC30V/1A

■ポイント

- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより大きい場合は、ピン付コネクタを使用してください。
- 付属品として取付ねじ、機能アースねじがついています。
- 4K・8K放送に対応したシステムにした場合、使用機器、同軸ケーブルなどはすべて3224MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものをご使用ください。

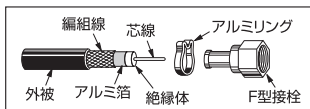
■同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法

※5C接栓(リング付)は付属しておりません。

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

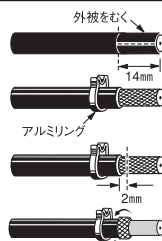
■各部の名称



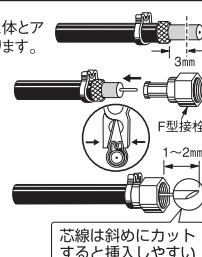
■ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

- 1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)
- 2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- 3 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
- 4 編組線をめくりあげます。



- 5 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。
- 6 F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。
- 7 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m(約20kgf・cm)

お客様窓口

0570-091039

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7109774 平成28年8月